

J-LOP (Japan Localization and Promotion) 事業

- 日本コンテンツの海外展開促進のため、字幕・吹き替え等のローカライズや国際見本市への出展等のプロモーション費用の補助(補助率:1/2)を実施(平成24年度補正123億円)。
- これまで約2年間で約3,500件の案件を支援し、コンテンツを活用したビジネスモデル革新を牽引。

ローカライズ

アニメ



『ちびまる子ちゃん』
発信国・地域: 中国
日本アニメーション・インターナショナル株式会社

© SAKURA PRODUCTION / NIPPON ANIMATION

電子コミック



『ドラえもん』
発信国・地域: 英語圏(全世界)
株式会社藤子・F・不二雄プロ

© Fujiko-Pro

プロモーション

ドラえもんを有効活用した
企業プロモーション実施例
SHARP×ドラえもん



ASEAN諸国向けに制作した、ドラえもんが家電製品の高性能・高品質をアピールするCMを各国主要メディア向けに放送。

海外見本市への出展例

JAPAN EXPO



パリで開催されるヨーロッパ最大のイベント「JAPAN EXPO」において日本コンテンツの共同出展、プロモーションを支援。

地方発コンテンツの海外展開事例



北海道テレビは、地域の魅力を発信する番組を制作し、J-LOPにより質の高いローカライズを実施できたことで海外での放送を次々と実現。
番組と連動したキャンペーンを行うことでアンテナショップの売上は前年比で約3割向上。

J-LOP+(プラス)における拡充のポイント

- 平成26年度補正(60億円)で実施するJ-LOP+は、平成24年度補正のJ-LOP事業の字幕・吹き替え等の「現地化」及び国際見本市等への出展等の「プロモーション」支援を継続し、
①地方発コンテンツの発信強化、②支援対象の拡大、③使い易さの向上、について拡充。

①地方発コンテンツの 発信強化

- (1) 地域経済活性化に資する案件の重点支援
(補助率2/3)
- (2) 実績のあるプロデューサーとのマッチング
- (3) 地方事業者に対するサポートの強化

②支援対象の拡大

- (4) 日本コンテンツに対する広告への支援の拡充
- (5) 単独コンテンツのプロモーション
- (6) 電子書籍全般のローカライズ

③使い易さの向上

- (7) 申請書類の簡素化
- (8) 申請後の審査事務の効率化
- (9) 審査結果の通知日をスケジュール化して公開